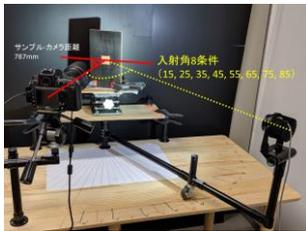


岐阜県生活技術研究所は、  
快適な生活空間の創出と地域産業振興のために、  
新材料・新製品の研究と技術支援を行っています。

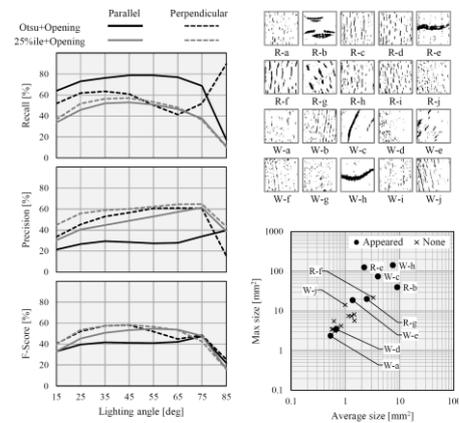
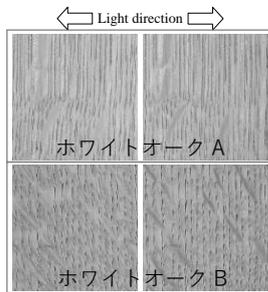
- 研究の紹介
- 研究実験 参加者募集のお知らせ
- 成果発表会・講演会を開催しました
- 色彩輝度計活用セミナーを開催しました
- インボイス制度についてのお知らせ

## 研究の紹介 | 人は木材や木製品のデジタルイメージで本物を感じられるのだろうか？

家具やインテリアは、触感、質感や外観情報がこれを使う人の五感を刺激しつつ、人の快適な癒しの生活空間には欠かせないアイテムです。しかし、近年の私たちの生活空間にはインターネットで購入した生活用品があふれ、インターネットでの商品の口コミは参考にしますが、実際の商品を手にとって体感し、感性への刺激が少ないまま、モニターに表示される画像を頼りに購入することが多いのではないのでしょうか。



光をいろいろな角度から当てて木材を撮影



光の角度を変えて撮影すると、木材の表情は大きく変化します。例えば写真のホワイトオーク、左右同じ木片ですが、全く模様が異なる木片に見えます。これはグラフにあるように木材に当たる光の角度が変わると、本物の木材に特有な斑紋が見え隠れするからです。斑紋は木材のブナ科に特徴的な模様で、デジタル表示上の斑紋はブナ科の素材や材料を好む人にとって本物を認識する因子となり、その見える大きさ、形状や数の総合的な評価が人の感性への刺激に大きな影響を及ぼすと考えられます。

この研究では、木材やその製品のデジタルイメージは、それら実際の触感や素材の持つ質感を人に伝えられるのか、人の感性を刺激して製品の魅力を伝えられるのかを探究しています。岐阜県産の木製家具は無垢の木材を用いたデザインが特徴です。私たちは無垢ならではの表情や質感をデジタル情報をとおして適切に伝達する手法の開発とその手法の家具製品への応用を目指しています。

### ▼▼▼ 研究実験 参加者募集のお知らせ 研究にかかわってみませんか ▼▼▼

今回紹介した研究は岐阜県が実施するプロジェクト研究の一つです。この研究では研究実験への参加者を募集します。いろいろな木材や画像を見て、触って、人はどのように感じられているのか、何に刺激されているのかなどの印象データを、アンケートをとおして収集します。

募集概要は次のとおりです。

- 1 募集人数 : 18~59歳の男性15名、女性15名
- 2 日程 : 令和5年9月30日までの希望する日(休日や夕方、参加可能)所要2時間以内
- 3 実験場所 : 岐阜県生活技術研究所(高山市山田町1554)
- 4 調査内容 : ①モニター表示の36種類の木材画像を見て、アンケートに答えます。  
②36種類の実物木材を見て、アンケートに答えます。  
③36種類の実物木材を見ながら触って、アンケートに答えます。
- 6 謝礼 : 3,000円分の図書カード(交通費相当分含む)
- 7 対象者 : 実験参加者には条件があります。以下の全てに該当する方が対象です。  
(1) 18~59歳の方、(2) 運転免許証を持っている方、(3) 日本語でのコミュニケーションができる方、(4) 自分ひとりの力で実験に参加できる方

実験参加に関するお申込みやご質問の連絡先：生活技術研究所 山口穂高  
電話：0577-33-5252、メール：yamaguchi-hodaka@rd.pref.gifu.jp

## 成果発表会・講演会を開催しました | 多数のご参加ありがとうございました

7月13日に研究成果発表会・講演会を会場と同時オンラインのハイブリッド方式で開催しました。県内外より家具製造業をはじめ、建具・建材・住宅関連の事業者や技術者など多数の方々にご参加いただきました。

講演会は東京大学大学院情報理工学系研究科の五十嵐健教授より「計算木工～材料の非均一性と切削機による加工性を考慮した木工用設計システムの提案～」と題して講演をしていただきました。また、研究課題5テーマについて各担当者より発表を行いました。出席者の方からは各課題について活発なご質問やご意見をいただき、大変有意義な成果発表会となりました。

なお、今回発表しました研究課題、その他の5テーマの研究課題の資料を当所ホームページに公開（11月30日まで）していますので、是非ご覧ください。

リンク先：<https://www.life.rd.pref.gifu.lg.jp/posts/new84.html>



講演会



成果発表会

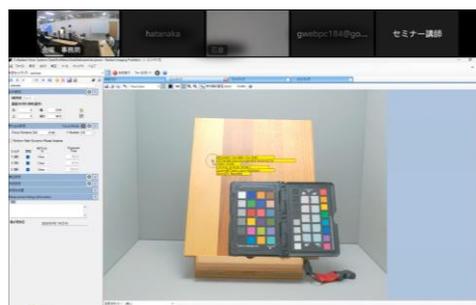
## 色彩輝度計活用セミナーを開催しました | ご参加ありがとうございました

7月7日にイメージング色彩輝度計セミナーを当所の研修室会場と同時オンラインのハイブリッド方式で開催しました。製造業や技術者の方をはじめ、県内の様々な分野の方々にご参加いただきました。

セミナーでは、製品設計や品質管理に役立てられる色と明るさについての基礎知識から実際の色彩輝度計を用いてその操作方法を学びました。

当所ではイメージング色彩輝度計を開放試験機器として今年度から新たに整備しました。今回のセミナーに参加された方はもとより参加できなかった方も、製品や材料の色彩の数値化に興味のあり色彩や輝度が測定したい方は、どなたでも色彩輝度計を利用していただけです。

開放試験機器は利用される都度に操作方法を説明しますので、安心して日々の業務に開放試験機器をご活用ください。



セミナー、実技演習  
(オンライン会場モニタ画面)

## インボイス制度についてのお知らせ

令和5年10月1日より、「消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）」が導入されます。当所（を含む県の研究機関）における「依頼試験手数料」および「開放機器利用料」は、いずれも課税取引であり、インボイス制度の対象になります。ご利用の際にはインボイスを発行します。